

なかどまり

第18号

平成21年11月発行

議会ガイド



中泊町博物館 秋の企画展

中泊地域のくらし - 考古資料と写真 -

平成21年10月24日(土)～12月13日(日)



〈主な内容〉

- 第3回定例会 …………… 2
- 一般質問 …………… 4
 - 長利 司議員 …………… 5
 - 青山 雅晴議員 …………… 6
 - 荒関 富雄議員 …………… 7
 - 古川 登議員 …………… 9
 - 川山 光則議員 …………… 10
 - 塚本 悦子議員 …………… 10
 - 奈良 清治議員 …………… 12
- 委員会だより …………… 14
- 議会の動き …………… 14

平成二十一年 第三回定例会

平成二十一年第三回中泊町議会定例会が、九月二日招集される。



野上議長

第三日目(九月四日)
議案熟考のため休会

第四日目(九月五日)
議案熟考のため休会

第五日目(九月六日)
議案熟考のため休会

第六日目(九月七日)
本会議

一般質問に、長利 司議員、青山雅晴議員、荒関富雄議員、古川 登議員、川山光則議員、塚本悦子議員、奈良清治議員が登壇。

第七日目(九月八日)
決算特別委員会

委員会を開会し、委員長に長利 司議員、副委員長に青山雅晴議員を選任、会期を二日間と決めた後、葛西昭文代表監査委員から平成二十年度各会計の決算審査報告が行われ、各特別会計決算の審査を行い散会。

第八日目(九月九日)
決算特別委員会

一般会計決算の審査が行われ二日間にあたる決算特別委員会での審査の結果、平成二十年度

各会計決算について賛成多数で、原案のとおり認定し閉会。

第九日目(九月十日)
本会議

上程してある二十議案と報告二件について審議した結果、原案どおり可決、承認。
また、陳情三件について、民生文教常任委員会に付託して閉会。

審議された議案

条例

○中泊町乳幼児医療費給付条例の一部改正。

青森県乳幼児はつらつ育成事業実施要領等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○中泊町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正。

青森県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○中泊町重度心身障害者医療費

助成条例の一部改正。

青森県重度心身障害者医療費助成事業実施要領等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○中泊町国民健康保険条例の一部改正。

国民健康保険法の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額を改めるため。

補正予算

○平成二十一年度中泊町一般会計補正予算。(第七号)

補正額は、歳入歳出とも二億七千四百八十八万八千円を追加するもの。
補正する歳出の主なもの、職員共済組合負担金、退職手当組合負担金、減債基金積立金事業、日本海漁火センター周辺舗装工事業及び診療施設勘定への繰入金、並びに財政調整基金積立金などそれぞれ計上。

○平成二十一年度中泊町介護保険事業特別会計補正予算。(第一号)

補正額は歳入歳出とも五千六百六万三千円を追加するもの。
補正する歳出の主なもの、前年度保険給付額の確定に伴う国庫支出金等過年度分返還金及び介護保険給付準備基金積立金を計上。

○平成二十一年度中泊町国民健康保険特別会計補正予算。(第二号)

事業勘定の補正額は、歳入

歳出とも九百八十七万七千円を追加するもの。
補正する歳出の主なもの、保険事業費、諸支出金及び予備費の追加、並びに後期高齢者支援金及び老人保健拠出金の減額などそれぞれ計上。

○平成二十一年度中泊町老人保健事業特別会計補正予算。(第一号)

補正額は歳入歳出とも一千八十一万七千円を追加するもの。
補正する歳出の主なもの、支払基金、国及び県への前年度調整還付金並びに一般会計繰入金を計上。

○平成二十一年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別

第一日目(九月二日)

本会議

議員二十名出席のもとに開会。会議録署名議員に米塚慎一議員、沖崎勲議員を指名、会期を九日間と決めた後、二十議案、報告五件を一括上程し、町長から提案理由の説明後、決算特別委員会の設置を議決し散会。

第二日目(九月三日)

一般質問通告締切

議案熟考のため休会

会計補正予算。(第二号)

補正額は、歳入歳出とも一千六百八万四千円を追加するもの。

補正する歳出の主なものは、人件費の調整額、修繕料、備品購入費、積立金をそれぞれ計上。

○平成二十一年度中泊町水道事業特別会計補正予算。(第一号)

収益的支出の既決予定額から、支払利息など六百六十二万六千円を減額するもの。

その他

○法人の経営状況について。

地方自治法の規定により、平成二十年度の財団法人小泊うみどりーむ振興公社の経営状況について報告するもの。

○町道の路線の一部変更について。

町道百十二号線の路線の一部について、一般交通の用に供する必要がなくなったので、この一部を廃止するもの。

○平成二十年度中泊町財政健全化判断比率の報告について。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成二十年度の中泊町財政健全化判断比率を報告するもの。

○平成二十年度中泊町公営企業会計に係る資金不足比率の報告について。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成二十年度の中泊町公営企業会計に係る資金不足比率を報告するもの。

報告(専決処分)

○平成二十一年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第一号について。

七月三十一日付で介護職員が退職するのに伴い、代替者が経費として所要の予算補正を要するため。

○平成二十一年度中泊町一般会計補正予算第六号について。

過疎集落の安心・安全の暮らし維持構想策定事業の実施が必要となったことに伴い、所要の予算補正を要するため。

町長提案理由説明



度中泊町の一般会計及び各特別会計の歳入歳出等決算の認定についてご説明申し上げます。

平成二十年度の財政運営は、厳しい地方財政の状況の中、国・地方を通ずる歳出・歳入一体改革の必要性や地方公共団体の安定的な財政運営に必要な地方税地方交付税等の一般財源の総額を確保することが必要であるとの観点に立つて、地方分権の時代にふさわしい簡素で効率的な行政システム確立のため、行政改革を推進するとともに、歳出の見直しによる抑制と重点化を進めてまいりました。

本日、平成二十一年度第三回中泊町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、公私ご多忙中にもかかわらずご出席をいただき、ここに開会できましたことを厚くお礼申し上げます。

今定例会に提出いたしました

議案は、平成二十年度中泊町の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の認定についてなど二十五件であります。その概要をご説明申し上げ、ご審議の参考に供したいと存じます。

まず、議案第六十一号から議案第六十九号までの平成二十年

決算特別委員会



長利委員長



青山副委員長

九月定例議会に提案された平成二十年度中泊町一般会計及び各会計の決算認定については、議員全員の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、委員長に長利 司議員、副委員長に青山雅晴議員を選任、会期を八日、九日の二日間と決めた後、

議案九議案について審議が行われた。

決算認定

- 平成二十年度中泊町一般会計歳入歳出決算
- 平成二十年度中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算(事業勘定・診療施設勘定)
- 平成二十年度中泊町老人保健事業特別会計歳入歳出決算
- 平成二十年度中泊町介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成二十年度中泊町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成二十年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成二十年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計歳入歳出決算
- 平成二十年度中泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成二十年度中泊町水道事業特別会計収入支出決算



葛西代表監査委員

**監査委員の
決算審査総括意見**

審査の結果、平成二十年度中泊町一般会計及び各特別会計について、審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、予算の執行及び関連する事務処理は適正に行われているものと認められた。

平成20年度 中泊町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算

(単位：円)

会計区分	歳入	歳出
1 中泊町一般会計	7,782,937,366	7,438,504,955
2 中泊町国民健康保険特別会計事業勘定	2,397,935,625	2,400,076,400
// 診療施設勘定	140,092,825	739,909,119
3 中泊町老人保健事業特別会計	146,340,545	135,521,909
4 中泊町介護保険事業特別会計	1,299,901,629	1,243,784,543
5 中泊町農業集落排水事業特別会計	43,326,072	43,186,341
6 中泊町漁業集落排水事業特別会計	29,705,235	29,269,675
7 中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計	308,328,624	291,243,764
8 中泊町後期高齢者医療特別会計	214,504,400	214,391,631
9 中泊町水道事業特別会計(収益的収入支出)	339,005,573	310,131,966

傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会平成21年第4回定例会は、12月初旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成21年第3回定例会の傍聴者は、11名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問

※質問議員の発言は、議員間の取り決めにより、800字程度に要約して掲載しています。また、答弁についても要約しています。

長利 司 議員



質問 第1 鳥谷川の利活用について

鳥谷川の利用活用について。豊岡地域には、消火栓が7カ所、そして防火水槽が2カ所設置されており。しかし、消火栓の本管の口径が鳥谷川の右岸、左岸でそれぞれ100ミリ、あるいは150ミリの管が設置されており、火災発生時には水圧が低下し十分な消火活動ができないものと懸念されます。そこで、豊岡地区水環境整備事業で整備された鳥谷川から給水することができないものか、可能性についてお尋ねします。

質問 第2 稲わらのすき込みに対する助成金について

稲わらのすき込みに対する助成は、農業の担い手者にだけ助成されております。個人ですき込みをしても

助成すべきではないか。稲わらのすき込みを、希望する中泊町の全農家の要望に答えることは無理とは思いますが、わら焼き公害防止のためにも、農家の公平性を期するために規定に定められた助成金額と同額でなくともいいので、できないものかお尋ねします。

質問 第3 グリーンツーリズムについて

全国各地でグリーンツーリズムの普及あるいはブルーツーリズムの普及促進が図られ、さまざまな取り組みが行われております。こうしたことから、最近都市部の皆さんの多くが農村を訪ねて、緑、自然に触れ、農業体験をする機会も増え、地場の取りたての農産物を味わって買い求めたりするといった、いわゆる地産地消も促進されているところであります。このような取り組みは大いに歓迎すべきであり、町内の各農家もできる範囲で努力をしております。中泊町長期総合計画の中でも、農業体験を修学旅行に取り入れるなど農業を体験するという取り組みを唱っております。地域の農業のさらなる活性化を進めていく上で、欠かすことのできない重要な施策と受けとめます。町では、グリーンツーリズムをどのように認識しているのか、また今後どのように展開していくのかお尋ねします。

質問 第4 国政の政権交代により、中泊町の行政現場に及ぼす影響について

この質問は今後誕生する新政権をどう考えるかということではなく、今マスコミあるいは現段階でマニフェスト、そういう資料に基づいて判断し、お答えをいただきたいと思えます。最も心配されるのは、町長

の努力によって確定された交付金で予算計上できた事業が、新政権の補正予算の見直しにより一時中断、または廃止にならないものかできる範囲で答弁を求めます。

●小野町長答弁

ご承知のとおり新政権はまだ充足していない状態です。これまで公約やマニフェストなどで大まかな構想は発表されておりますが、実際どうなるのか決まっております。したがって、町に及ぼす影響についても中止や変更も含めて国及び県から連絡が入っていないことから、現段階では何ともお答えできないというのが現状です。ただ、私どもは昨年度及び本年度で手当てされた経済対策に関する交付金を最大の財源として各種事業を実施し、これまでやりたくてもやれなかった道路の整備や雇用対策など多くの事業を進めております。今ここでそれらの予算を止められるようなことになれば、住民サービスの低下はもちろん、町財政に及ぼす影響も非常に大きいものとなることから、このような事態に陥らないよう働きかけていく所存であります。

●加藤建設課長答弁

この河川につきましては県営豊岡地区水環境整備事業及び県営豊岡地区地域用水環境整備事業により多自然型護岸や広場等が整備され、平成18年度に完成しております。完成後8年間は構造等の変更ができないことになっております。また、事業終了後2年余り経過していますが、今後会計検査も予定されるところでございます。このことから、現状のままでの管理が必要とされております。



稲刈り作業中の津軽平野

●飯塚農政課長答弁

担い手等だけに認められております助成金を、個人ですぎ込みをした場合にも助成できないかというご質問ですが、この件につきましては以前中里地域水田農業推進協議会の産地づくり事業の中で検討されたことがあります。当初の計画では、個人のロータリーでのすぎ込みにつきましても稲わら防止対策の観点から助成対象とした計画案を策定した経緯があると聞いています。

しかし、農政局との計画の協議の段階で、産地づくり交付金につきましては、担い手に対する作業を集積させて担い手を育成するのが本来の事業の目的であるということから、その部分について指摘を受けまして、現在のようにプラウによる耕起、すぎ込みの作業をしまして土づくりをした担い手等に助成しているものがあります。今回の議員の意見を踏まえまして、今年度は無理といたしましても、来年度に向けて稲わらのすぎ込みに対して広く農家に助成できる方策がないか関係機関とも協議をし、検討してまいりたいと考えております。

当町のグリーンツーリズムの推進につきましては、これまでも関係する組織等が取り組んできたところがございますが、今年4月にVICウーマン、生活改善グループ、津鉄応援直売会の会員25名が構成員となりまして、中泊町の豊かな地域資源と会員の特技を生かして体験交流に取り組み、都市部の住民に地域の魅力を発信して地元元気と会員の所得向上につなげることを目的としまして、中泊町グリーンツーリズムの会「かけはし」を設立しています。

今年度は、青森県市町村地域づくり団体等共同モデル事業の助成を受けて、既に一部実施されておりますが、活性化施設の畑を利用して栽培、収穫を通して喜びを体験する畑の学校、それから地域の伝統料理を通じてふるさとの食の豊かさと大切さを体験する食卓の学校を計画しまして、参加者を募り体験交流に取り組んでいるところです。今回の体験交流は、町内外の親子を対象としたものであり、このように積極的にグリーンツーリズムに取り組み組織が設立されてきております。今後東北新幹線が全線開通されることから観光関係団体との連携を図るなど環境づくりに努め、都市部との交流に向けて活動をさらに支援してまいりたいと考えております。

青山雅晴 議員



質問 第1 防災無線の最大効果について

6月、7月と全国を襲った集中豪雨は大勢の死者を出しました。その中で特に多かったのは、兵庫県の出町で18人、また福岡や各地で多くの被害をもたらしました。報道の中で、福岡では豪雨の音で防災無線が聞き取れなかったとされているが、我が町でもそのような事態が起こったとき、防災の効果が発揮できるのかお聞きいたします。

質問 第2 新型インフルエンザのその後の町の対応は

新型インフルエンザについてであります。6月の一般質問でも取り上げましたが、青森県にも感染者がこんなに早く進入してくると思いませんでした。県内でも300人以上の感染、全国では何万人単位です。死者も全国で10名を報じられております。先月の27日は、県下市町村課長会議が行われております。国、県、市町村の取り組み、特に我が中泊町の対応はこれから冬に向けてどのような対応を迫られているかお聞きいたします。

質問 第3 ガン死亡率一位の本県。中泊町の取り組みは

2004年から2007年までがんの死亡率が全国1位というのは我が県にとって不名誉な記録であります。青森県、津軽の人は漬物が好きだからだそうです。当町の生活改善グループが各家庭のみそ汁を調査した結果、全般に塩分摂り過ぎとのことでした。これらの

ことを総合して全町民が検診を受けてもらいたいと思っております。

● 成田総務課長答弁

町では、平成19年4月より新しい防災行政用無線を運用しており、子局と呼ばれる屋外のスピーカーを中里地域に26カ所、小泊地域に23カ所設置しております。また、毎戸に戸別受信機を設置し、屋内外において防災無線放送を聞くことが可能となっております。ただ、聞くところによりますと戸別受信機の音量を最低にしている家庭も少なくないようであります。町の防災無線は、緊急時における放送は受信機の音量つまみの位置に関係なく、最大音量で放送が受信されるようになっていないことから、緊急時に防災無線の音量が低いということはないと考えております。しかし、いっつどのような故障が発生するかわかりませんので、町民に対しましては電池やコンセントの接続の確認などをお願いするなど、日ごろより十分注意して運用していきたいと考えています。

● 小野町民課長答弁

新型インフルエンザのその後の対応であります。当町における患者数ですが、8月中旬に4名の方がインフルエンザA型陽性と判定されております。これは、いわゆるみなし患者扱いということで、疑いのある患者のほうに当町で4人が含まれていました。

具体的な対策といたしましては、広報なかとまり9月号に新型インフルエンザの特集を組んでおります。その中で、新型インフルエンザを疑う患者の診察フロー図を載せております。併せて妊婦や糖尿病患者の対応についても若干載せております。また、対策を講

じるための新型インフルエンザ対策幹事会を開催し、町の公共施設や集会所に消毒剤の設置と、それからマスクの追加購入を決定し、至急準備することにしております。保育所、小学校、中学校においては、既に手洗いの石けんを設置いたしております。また、小中学校の保護者に対しましては、家庭での予防対策や子供に無理をさせないなどのお願いのチラシを配布済みであります。今後は、対策本部会議を定期的に開催の上、実態把握と対策について速やかに行動したいと考えております。

次に、がん死亡率1位の県、町の取り組みについてであります。がん死亡率とは、人口10万人当たりのがんによる死亡者の割合を示したものであります。本県は、平成16年から19年度まで4年連続で全国ワースト1位となっております。当町において平成20年度は、肺がん死亡者12人あります。胃がん死亡者10人。亡くなったほとんどの方は、今まで一度もがん検診を受診したことがないものと思われれます。本県は、平均寿命も男女とも全国で最も短く、喫煙率も全国トップクラス、そして塩分摂取量も長年全国平均より高いことが統計で出ております。

がん死亡率を下げる対策としては、一次予防としては喫煙率を下げて生活習慣の改善、二次予防としては検診の受診率を向上させ、早期発見、早期治療と言われており、国、県及び町においても同様の対策を推進しているところであります。がん検診の受診率で比較いたしますと、本県は全国平均を上回っております。そして中泊町においては、さらに県平均をほとんどの部門で上回っている状況であります。

町の対策といたしましては、食事改善推進員の研修会、小中学校における防煙教室の開催、妊婦保健指導

及び各種研修会、講習会の開催などにより、喫煙率の低下と生活習慣の改善に取り組んでいるのに加え、保健協力員の方々には受診申込書の毎戸配布及び回収をお願いしております。また、広報を活用した啓発と周知、さらには検診、受診のために休むことのできない方々のために日曜日の検診も実施いたしております。

以上のようにさまざまな対策を実施いたしておりますが、今後も「健康なかとまり21」で目標値に掲げている数値に少しでも近づくように、有効な対策を継続したいと考えております。

荒関富雄議員



質問 第1 災害復旧について

災害復旧についてであります。これは先の7月の集中豪雨で宮野沢川下流の堤防の決壊のおそれがあり、町の対応は迅速でした。今後の復旧のスケジュールはどのようなになっているのか伺います。

不動の滝の歩道の件ですが、確か昨年災害が起きていると認識しております。あそこは、もともとは森林軌道の跡を整備しながら、不動の滝までの遊歩道をきれいに一度は整備しましたが、最近非常に集中豪雨、

異常な雨量などによって、橋が1カ所大きく崩れていきます。調査は去年やられたものと認識していますが、一向に通行止めが解除されていないので状況を説明をお願いします。

質問 第2 行財政改革委託費について

行財政改革そのものは、これは喫緊の課題でありま
す。政権交代が叫ばれて政権交代になったわけであり
ますが、その中で一番言われているのが無駄の排除と
言われておりますので、委託費についてお伺いします。
総額で約4億2,000万円の予算の中で、若干気にな
るのは電算機関連の歳出の抑制についてであります。
行政改革のために入れた電算機に係る経費、システム
の改修などいろんな検索とか、そういうのが最近特に
増えていく傾向にありますので、その抑制策について
お伺いしたいと思います。

● 加藤建設課長答弁

議員ご承知のとおり、宮野沢川は県管理の河川でござ
います。去る7月18日から19日にかけての大雨によ
り、法面崩壊の災害を受けてございます。現在大型土
のうとシートで、法面を保護している状態です。今後
の復旧予定につきましては、県に聞いたところ、9月
中には工事を発注する予定とのことです。

● 木村水産観光課長答弁

これは不動産の滝でありまして、確かにご質問の不動
の滝歩道は昨年、20年の7月28日の大雨で被災してお
ります。この不動産の滝は、国有林野からの貸付を受け
整備されているもので、緊急を要するものの復旧には

幾つかの条件がありました。一つ目は、貸付地の現地
復元、それから二つ目は貸付地内の新たな用地は有料
となるという条件であります。この条件を解消するた
めに、何回か現地の調査と関係機関の交渉などで、こ
れらの条件をクリアするのに時間がかかったのは確か
でございます。結果、現地にプラスチックの杭の設置、
また新たな貸付地は無償ということで9月2日に回答
がありました。よって、ようやく測量の杭を打つ業務
を進めるめどが立ちまして、9月中には終了する予定
であります。

また、復旧工事は西北県民局地域整備部で執行する
ことになっており、早々にこの状況を報告し、復旧の
ための工事にかかることを強く要望しながら、今年度
中の完成を願いたいと思っております。

● 成田総務課長答弁

委託費の内容は、大きく分けまして自営光ケーブル
保守点検委託業務、それからハードウェア保守点検委
託業務、ソフトウェア保守委託業務であります。自営
光ケーブル保守点検委託業務というのは、町村の合併
の際に地域イントラネット基盤施設整備事業により敷
設しました、中里小泊間の光ファイバー全長47キロ
メートルを異常がないか点検を委託しているものです。
この光ファイバーで本庁から支所間の電算業務、それ
から防災カメラ、今開催中の議会中継などすべてを
賄っており、非常に重要な回線であります。

次に、ハードウェア保守点検委託業務であります
その内容は各業務で使用しているサーバー類及び本庁
と出先機関を結ぶための通信機器類であります。これ
らが停止しますと最悪の場合、業務そのものが執行で
きないおそれがあることから、日ごろより保守点検を

行い、異常があった場合は迅速に対応するため委託し
ているものであります。

最後に、ソフトウェア保守委託業務であります
これは軽微な法改正等によるシステム修正やシステム
利用に対する運用支援及びその利用料等であります。
これらの委託料に対して価格が適正かということでも
考えられますが、平成18年12月に第三者機関のNPO
法人コンピューターシステム調達の適正化委員会に委
託しまして、委託の作業内容や価格等を調査しても
らった結果、委託作業内容が適正であるとともに作業
内容量と委託価格の比較でも委託料は低目に設定され
ているとの報告を受けております。

● 浪内財政課長答弁

委託料の決算額は、19年度は4億5,600万、20
年度で4億2,200万、約3,380万、前年度から
見ますと減少しております。それを細かく見ていきま
すと286件ほど委託料がありますが、荒閑議員が質
問された電算機関連においては2款と3款の6費目しか
ありません。それが20年度は約2,316万7,000
円、19年度が2,380万円で、66万円ほど減少して
います。

コンピューターを入れることによってスピード化に
つながります。検索がすごく早くなります。データの
保存、保管が非常に便利になります。入力までは委託
している部署もあるようですけども、個々に入力し
ているものもあります。また行革絡みで人件費の減に
は確実につながっているものと思います。

古川 登議員



質問 第1

ヘリポートについて

ヘリポートのことですが、今年の6月頃、下北の大畑町の女性が救急車を呼んだところ、今救急車には救急救命士が乗っておりますので、これではこの病院では間に合わない死亡する可能性があるということで、病院側と相談しながら県病までヘリコプターで搬送されたそうです。ヘリコプターと車の搬送の差は50分以上あるそうです。そして、県病ですぐ手術をしてその女性が助かったそうです。やはり人間の生命というのは大切なものであり、これより大事なものはございません。

大畑町と小泊地域と距離を比べれば同じくらいです。ヘリコプター搬送には県の許可が必要だということですが、事前に許可を取ることができるのかどうか。緊急時には必要となりますので、準備をしなければならぬと考え質問します。

質問 第2

宮野沢水路関係について

宮野沢のいわゆる紅葉坂トンネルがことし3回ほど通行できなくなっております。あそこの集会所のそば

に保育所のほうに来る堰と、それから東のほうに行けば深郷田川がございます。大雨が降れば保育所のほうへ行く川の水を止めるようになっております。宮野沢の人たちがそれを町に要請したと言われています。この前に私が現場を見てきました。もちろん鉄骨で造られており、上げ下ろしする機械ではありますが、腐食してすぐにも落ちるような状態です。これから台風シーズンにもなりますので、予算的にいくらか掛からない状況ですので、町長、建設課長に現場を見ていただきたいと思えます。

質問 第3

パルナス利用について

パルナスができる前までは、公民館で結婚式や葬儀は公民館でやっておりました。しかし、公民館でやる場合には大体100人位しか入らなかったわけです。

我が中里町としてもこれはとても恥ずかしいということで、議員達が各施設を視察・研修して、ボタン一つで椅子が移動するような施設を造ったわけでございます。この前パルナスで、プロレスリングが開催されました。130人ほど入る立派な体育館がありながら、なぜあの施設でプロレスリングやるのかと、何人もの人に言われ、また、金を出せば何にでも貸すのかと言われました。私はわかりませんでした。結婚式をするところも、子供たちに血を見せるようなプロレスリングも一緒の場所です。私もおかしいです。私も考えてみると納得しませんので、今回質問しました。

●小野町長答弁

紅葉坂地下道については、県営中山間地域総合整備事業により平成11年度に完成いたしました。その後さ

わやか団地及び宮野沢集落や運動公園への連絡道路として多くの方々に利用されてきております。議員ご指摘のとおり、ここ数年前から大雨が降るたびに冠水するようになり、通行に支障が出るようになっております。このため、平成18年度には被害防止の観点から冠水時に通行止めを知らせる電光掲示板や警告灯を設置して対処してきております。

冠水の原因については、降水量の増加、排水系統の変化と、そして排水路の埋塞等いろいろな要因が考えられますが、議員のおっしゃる前堰用水路からの流入水もその一因であるものと思われれます。通常出水施設などの農業用施設については、受益者の維持管理によるものと認識しておりますが、老朽化が著しいこと、そのゲートの上げ下げが容易でないために大雨のときには、迅速な対応ができない状況にあることも事実でありますので、これらのことを踏まえ、適切な対応を講じてまいります。

●成田総務課長答弁

ヘリコプターを利用する場合を想定しますと、地震、津波、山岳遭難、または岩木川等の河川での事故などが考えられますが、ヘリコプター運航要請ができる条件は、災害から住民の生命、財産を保護し、被害軽減を図る場合と差し迫った必要性がある場合であります。要請する先は、青森県防災航空センターであります。要請できる団体は町長及び五所川原地区消防事務組合消防本部長であります。ちなみに、青森県防災航空センター所有のヘリコプターの名称は「しらかみ」と呼ばれております。なお、ヘリコプターは飛行場以外の場所において離陸、着陸をしてはならないと規定されていますが、ただし国土交通大臣の許可を受けた場合



はこの限りではないということから、町では次の3地点の許可を受けております。中里地域は、運動公園と中里中学校のグラウンド、それから小泊地域は小泊ふれあい運動場であります。

なお、青森県警察所有のヘリコプター「はくちよう」や青森県防災航空センター所有の「しらかみ」などが捜査活動、救助活動を行う場合は、国土交通大臣の許可を受けなくとも離着陸できることになっております。

●熊木教育次長答弁

指摘のプロレスリングの興行につきましては、主催者が中央公民館、それから体育センターの使用を検討したようではありますが、観客の動員予定数や施設の規模などの関係から最終的にパルナスの使用について申請がありましたので、リングの設置方法、それから床に傷をつけないよう床の保護をどうするのか、それから試合の内容、流れ、それからこれまで開催した他の会場での状況を聞きまして施設の管理には問題はないこと、それからプロレスリングに接する機会が少ないことなどを考えまして使用を許可したものです。スポーツ施設として体育センターなどがありますので、今後は使用内容を精査し、申込者へ使用目的に合った

施設を利用するよう促し、または指導するなどの対応をしてまいります。今後とも各施設の適切な管理運営に努めてまいります。

川山光則 議員



質問 第1 小泊地区教職員住宅の空き家について

当町では今、行財政改革やもつたない条例制定等、改革に取り組んでおりますが、そのかけ声の割には目に見えて進んでいるものがないように思われます。

その中の一つに教員住宅があります。現在の小泊地区の教員住宅は、全然使用できないもの、手を加えれば使用できるものと様々あります。今後の小泊地区の教員は増加するとは考えられず、早急に売却を含む処理を進めるべきと思いますが、理事者の考えを伺います。

また、通告にはありませんが、民家でも空き家が多数あり、これらも持ち主や軒数を把握しておく必要があると思えます。

●熊木教育次長答弁

小泊地域の教員住宅は18戸あり、すべて教育委員会が管理しております。その状況ですが、平成7年度から13年度に建設されました8戸については、管理上問題はありません。しかしながら、昭和49年度から53年

度までに建築された10戸は老朽化が進んでおり、すべて空き家となっております。道路事情がよくなっていることなどから、ほとんどの教職員が通勤し、入居希望者が減少していることから大きな改修をすることなく現在に至っております。そのうち2戸については、用具の保管と小泊地域の高齢者を対象にした寿大学の陶芸教室で使用しております。日常の管理としては、周辺の住民へ迷惑をかけないよう草刈りや老朽した板塀の撤去、壊れた箇所の応急処置をする程度となっております。教職員の入居希望者は、今後増加はないものと考えられることから、教育財産としての管理では活用に制限があります。早い時期に解体しなければならぬ住宅もありますので、今後は町長部局と財産の移管などについても協議し、早期に今後の活用や処分について検討してまいります。

塚本悦子 議員



質問 第1 土砂災害等の防止について

災害は、忘れたころにやってくると言われていますが、最近ではいつでもやってきます。防災は住民の安心と財産を守るのが基本であります。先般、防府市で土砂災害が発生し特別養護老人ホームの7人が死亡、行方不明となりました。

青森でも平年を大きく上回る降雨で、幸い人的被害は無かったものの油断は禁物です。

国では土砂災害防止法において、基本指針を出しております。警戒区域の指定状況は県では1,938ヶ所、そのうち特別警戒区域が1,657ヶ所もあります。

災害では気象台や自治体の迅速な情報収集や住民への的確な伝達が必要とされております。町でもHPの防災情報欄に、小泊、下前、岩木川に監視カメラがあり、洪水ハザードマップも整備されていますが、今後町当局は地震防災マップを含め対策はどのように計画されていますか。

質問 第2 中泊町観光PRについて

霊峰岩木山を仰ぎ、黄金色に輝く田園風景が一面に広がる、そして権現崎を臨む海の風景、ここ奥津軽中泊町は絶好の観光資源だと思います。

先般8月11日に津軽鉄道の終着駅中里に金多豆蔵人形一座の常設芝居小屋が完成しました。当面毎月第一土曜日に定期公演を予定しております。これまで金木町で止まっていた観光客の足を、中里駅を起点として

小泊までの観光コースをPRしていただきたいのですが、観光行政にどの程度力を入れているのかお聞かせください。

●小野町長答弁

町では、風水害、地震等の災害予防、災害応急対策、復旧等の防災対策についてまとめた中泊町地域防災計画を策定しております。災害時においては、この計画に基づいて対応しております。青森県が土砂災害防止法に基づき、県内の土砂災害警戒区域の指定を進めており、平成18年度に小泊地域の指定が完了したことから、平成19年、20年に下前地区において青森県と合同の土砂災害訓練を行っております。そして、町民には土砂災害警戒区域、特別警戒区域、避難所等の情報を記載した土砂災害ハザードマップを作成して今年の8月に配布しているところでもあります。現在災害時における高齢者等の要援護者に対する支援方法などについて検討するよう指示をし、庁内の関係部署において検討させているところであります。

しかし、これらの訓練、そしてパンフレットの配布だけで自然災害に対する体制は万全とは思っておりません。今後も防災計画の見直しを含め、災害に強い安全なまちづくりのために国や県等の防災関係機関、自主防災組織等が一体となった総合的な防災体制の整備づくりに努めてまいります。

●木村水産観光課長答弁

中泊町の観光振興についての質問ですが、これは県はじめ県民局が主体で、新幹線開業に向けた観光商品の掘り起こしをするとともにモデルコースなど計画、調査及び評価を踏まえ、津軽ならではの観光商

品づくりを進めているところです。併せて当町においてもこの機会をチャンスとし、誘客の促進を図る方策に努めているところです。

まずは、小説「津軽」の像観光開発事業を初め、国の補助で過疎集落の安心・安定の暮らし維持構想策定委託事業、さらには従前の観光施設の維持管理などに努めているところです。特に国の平成21年度補正による事業、過疎集落の安心・安定の暮らし維持構想策定委託事業は、本年の6月4日に国土交通省から募集要項が交付され、それに早々に応募したところ、7月15日に採択の通知がありました。

活動内容としては地域の現状及び課題を抽出、調査するとともに、農工商連携検討委員会を組織し、さらには実践組織の立ち上げ、ワークショップの開催、そしてモデルツアーの検討などアクションプランの策定と施行など観光と地域に関する事項を踏まえた報告書を作成するものです。

今後は、策定された報告書に基づいて中里、小泊地域の観光資源を発掘するとともに、農林水産業の体験を取り入れた着地型観光の推進を図る上で各産業間の連携が急務であると思います。

津軽中里駅に金多豆蔵人形劇場が常設されたことにより、駅をベースとした観光商品の開発を検討するとともに、中泊町の交通の玄関口として活用は観光の活性化には必要不可欠なものと認識しているものであります。観光の振興は、地域の特徴を生かした地域ならではのものを発掘し、連携と広域的ネットワークの構築がこれからの観光振興には大変重要であると思っております。今後は、観光客の受け入れ態勢づくりと観光PRをあわせて業務に努めていきたいと思っております。



金多豆蔵一座



塚本悦子議員再質問

このハザードマップは7割余りの市町村が整備しているけど住民への説明会がなく、実際の避難に活用していないと調査でわかっています。避難勧告が確実に伝達されるよう情報伝達体制の整備に努めるように我が町独自のマニュアルを製作し、説明会や講演会、学習会また防災意見のアンケート等の注意の喚起が必要だと思いますが、是非このことをお願いいたします。

中泊町観光PRについては、この町の中里城址や名水百選の大沢内の水、徐福の里、海水浴場等々沢山あると思うのです。せっかく金多豆蔵一座を設置したのですからマスコミを多に利用し、この町をPRしていただきたいのです。一日も早く取り組んでくれることを要望して終わります。

●秋元企画調整課長答弁

金多豆蔵防災無線活用PRの件についてですが、当日は、新聞社と木村さんと津軽鉄道がジョイントしまして20人分の券を売っています。それで、まず20人は確保できるということで、それと問合せなどを見ますと、会場は、入場客数が50人しか入れないため、こ

のまま放送してしまうとパニック状態になるのではないかとということで、放送についてはお断りしました。私自身、放送しないでよかったのではと、感じております。今後だんだん人も少なくなっていくかもしれない。その時には、ぜひ町としてもできる限りの応援をしていきたいということを考えています。

奈良清治議員



質問 第1 公用車の払い下げについて

町長は6月中旬に後援的な一部の議員団に、今後の行政計画の説明があったようです。その中で一職員が公用車最低入札価格を公表したとのこと。公表するならば全議員及び町民に公報しなければ公務員法秘密厳守にそむくものであり、総務課長はどのように考えているのか。

質問 第2 うみどりーむ振興公社について

役場職員が、公社に3名派遣されておりますが、町長は21年度で公社より派遣職員を撤退するものですが、不思議に思うのは今年新採用された新人職員が派遣され、1年でまた職場替えになる。課長はどのように考えているのか。

質問 第3 事務分担の組織について

第1点目の件。私は最も危険な、職員による入札妨害ではないか。2点目は新人職員の職場での勉強や指導になるのか。町長にあらためて聞くものですが、副町長を置かないための欠点から生ずることではないのか。今後も町長だけの行政で行くのか。何事も町長一人では出来るものでないことを申し上げ、今後の町長の考えをあらためてお聞きするものです。

●小野町長答弁

この財団法人うみどりーむ振興公社は平成13年に設立されており、小泊地域の観光施設の維持運営を主な業務として今まで運営してまいりました。公社の見直しは平成20年3月に行政改革大綱が公表されて、町全体の機能を見直す項目に公社が平成21年度に廃止すると取り上げられています。この見直しは、国の公益法人制度の抜本的な改革に伴う法律の改正と、平成22年の職員採用の見合わせと本年度の退職者が15名くらい出ることが見込まれておることが大きな要因でございます。今後の公社の運営につきましては、やはり広域的なものや地域的なものに分類することが望ましいものと考えております。広域的施設は、今後公社の組織、機構を見直しながら今までの業務を行うこととし、地域的な部分についてはでき得るだけ商売に精通した組織に委託し、そして行政のサービスと地域のバランスがとれた施設の運営を図るために行政依存型から脱却を目指します。

そこで、新採用の職員をなぜ出向させたのかと、そういうお話でございますが、前に派遣していた職員2



小泊道の駅「ポントマリ」



下前徐福の里「物産品直売所」

人の期限が来まして、引き揚げなければならない。そして、それに変わるものとすれば、1人は小泊地区から参加させましたが、もう1人は新採用を出向させました。本人は勉強のためにもぜひ10カ月頑張つて行きたいということもあり、出向させました。

事務分担の組織については、まず行政全般について業務の遂行が計画どおり行われているのかとの質問でございますが、今のところは滞りなく業務を遂行しています。ご承知のとおり本年4月は町長選挙があり、それに伴い人事異動を6月1日付で実施したこと及び副町長がいなくなったことから、各課長等を先頭に職員一丸となって職務に当たっており、これまでと同様業務を遂行いたしております。特に本年度は、昨年度から引き続き国の経済対策事業が実施され、町の事業量も例年に比べて非常に多くなっておりますが、これらも計画どおり進めることができっております。

次に、各課の事務を掌握、監視する機能が副町長不在のために欠如しているのではないかとのご質問でございますが、特に各課の状況を的確に把握するための課長等がメンバーである、庁議や全管理職を対象とした行政連絡会議で綿密な協議を行うとともに、随時各課長等と情報交換を行い、ご指摘のことがないよう努

めているところであります。

なお、副町長の選任については、まだ適任者を見出しておりませんので、副町長不在の状況はしばらく続くものと思えますが、このことにより町政運営に悪影響を及ぼすことがあってはならないことであり、私自身も一層の注意を払ってまいります。

● 浪内財政課長答弁

私からは、公用車の払い下げの入札時の予定価格の漏えいがなく公明正大に行われたのかということと答えます。議員ご承知のことと思いますが、7月3日付事務連絡でもって平成21年6月29日の指名競争入札結果及び平成21年6月の履行状況並びに町有物品払い下げの一般競争入札の執行について通知をしております。その中には、払い下げ物件の表示及び説明会の日時などをお知らせしております。その内容を申し上げますと、予定価格4万1,000円及び現場説明会並びに入札執行日の日時等が記載されており、その日時のとおり実施し、結果として4万5,000円で落札され公明正大に行われたと思っております。

● 木村水産観光課長答弁

まず公社の設立の趣旨に準じまして、民間的発想ということが1つありました。また、先ほど来回答の中にありましたけれども、行政改革大綱でいろいろ協議した中で、やはり平成20年の12月1日からの法律の改正に伴うことが従前にわかっていたものですから、それらを踏まえて21年度廃止ということが取り上げられたものでございます。その後さまざまありまして、廃止に向けたもの進まず、1年延びたわけですけども、今述べられたとおり21年度末には職員を引き揚げ



小説「津軽の像」記念館

るということで、公社の運営についてはまたこれから短期間ですけれども、いろいろ調査、協議しながら進めてまいりたいと思っております。

● 成田総務課長答弁

まず、秘密漏えいという一つの問題についてはですけども、先ほど財政課長のほうから入札の件に関しては答弁あったとおりは思います。ただ、残念ながら私のほうでは、はっきり把握しておりません。もし、その他において職員のさまざまな秘密漏えいがあったとすれば、これは当然由々しき問題であります。これは当然町のそれぞれの規定に沿った形で事務を進めていきたいと考えております。

それから、これも人事ということで先ほど町長のほうから答弁ありましたけれども、やはり人事というのは1年生であろうが、その職員の希望もあって今回公社に配置になったと。これは、本人にもさまざまなイベントの機会が聞きますけれども、本人は非常に張り切つて生きがいを持って頑張っている状況でありますので、ご理解を賜りたいと思います。

議会運営委員会 (米塚慎一 委員長) 8月24日(月)

〈案 件〉

- ・平成21年第3回中泊町議会定例会会期日程について
- ・決算特別委員会の組織及び委員会日程について
- ・提出議案について
- ・新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- ・その他



委員会だより

平成21年 第4回臨時会

7月27日(月)、上程された報告1件、議案1件を原案のとおり承認、可決し閉会。

- 専決処分した事項の報告及び承認を求める件
(平成21年度中泊町一般会計補正予算第5号について)
- 財産の取得について

平成21年 第3回議員全員協議会

9月2日(水)、下記について説明がありました。

- 薄市保育所の運営について。
- バイオマス利活用交付金事業について。

議会の動き

【7月】

31日	屏風山内真部線完成促進期成同盟会
30日	健やか少年野球大会
29日	北郡社会福祉協議会総会
28日	健やか少年野球大会
27日	国営小田川二期総会
26日	健やか少年野球大会
25日	北五地区農業委員
24日	例月出納検査
23日	例月出納検査
22日	青森県下町村議会議員研修
21日	ホタルまつり
20日	水難救助捜索合同訓練
19日	決算監査
18日	なかどまりまつり実行委員会
17日	なかどまりまつり
16日	なかどまりまつり
15日	なかどまりまつり
14日	なかどまりまつり
13日	なかどまりまつり
12日	なかどまりまつり
11日	なかどまりまつり
10日	なかどまりまつり
9日	なかどまりまつり
8日	なかどまりまつり
7日	なかどまりまつり
6日	なかどまりまつり
5日	なかどまりまつり
4日	なかどまりまつり
3日	なかどまりまつり
2日	なかどまりまつり
1日	なかどまりまつり

【8月】

30日	例月出納検査
29日	例月出納検査
18日	中泊町敬老会
10日	本会議 単行案審議・採決・閉会
9日	決算特別委員会(一般会計)
8日	決算特別委員会(特別会計)
7日	本会議 一般質問
6日	青森県北海道小中学校相撲中泊大会
3日	中泊町戦没者追悼式
2日	第3回中泊町議会定例会開会
28日	第一回もつたない町民運動推進会議
24日	議会運営委員会
23日	中泊町消防団定期観閲式
20日	例月出納検査
19日	例月出納検査
15日	中泊町成人式
14日	なかどまりまつり(中里地区)
11日	なかどまりまつり(小泊地区)
7日	「金多豆蔵人形劇」こけら落とし
6日	西北津軽郡議長会第一回協議会
6日	西北つがる地区身体障害者スポーツ大会

【9月】

30日	例月出納検査
29日	例月出納検査
18日	中泊町敬老会
10日	本会議 単行案審議・採決・閉会
9日	決算特別委員会(一般会計)
8日	決算特別委員会(特別会計)
7日	本会議 一般質問
6日	青森県北海道小中学校相撲中泊大会
3日	中泊町戦没者追悼式
2日	第3回中泊町議会定例会開会
28日	第一回もつたない町民運動推進会議
24日	議会運営委員会
23日	中泊町消防団定期観閲式
20日	例月出納検査
19日	例月出納検査
15日	中泊町成人式
14日	なかどまりまつり(中里地区)
11日	なかどまりまつり(小泊地区)
7日	「金多豆蔵人形劇」こけら落とし
6日	西北津軽郡議長会第一回協議会
6日	西北つがる地区身体障害者スポーツ大会